

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	メディアリテラシーC		
英文授業科目名	Media Literacy C		
開講年度	2004年度	開講年次	3年次
開講学期	5学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-専門共通科目-選択必修科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学科		
担当教官名	吉浦 裕		
居室	西6-611		

公開E-Mail	授業関連Webページ
yoshiura@hc.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>コミュニケーションは、個人間の日常会話から組織の情報伝達，社会への情報発信など多岐にわたっており，人間の最も普遍的で重要な活動です．メディアリテラシーCの主題は，コンピュータネットワークを中心とするコミュニケーションツールによって，人間のコミュニケーション能力の発展を図ることであります．そのために，利用者の立場からコミュニケーションツールを使いこなす基礎を身につけること，研究者の立場から新しいコミュニケーションツールを発想する素養を身につけることを目標とします．</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
メディアリテラシーA，コミュニケーションネットワーク

<b>【教科書等】</b>
授業開始時に指示します．

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

前半では、コンピュータネットワークを中心とする様々なコミュニケーションツールの原理、機能、発展の講義を通じて、コミュニケーションツールの利用と発想のための幅広い知識を学びます。後半では、代表的なコミュニケーションツールとしてWebシステムを取り上げ、ホームページの具体的な作成実習を通じて、利用と発想のための素養を身につけます。

#### (1) コミュニケーションツールの講義

- ・コンピュータネットワークの発展と最近の技術動向 (XML, P2Pなど)
- ・インターネットの技術概要
- ・Webシステムの構造と機能

#### (2) コミュニケーションツールの実習

- ・ホームページ掲載までの全体的な流れ
- ・HTMLによるテキストページ, 画像の使用
- ・CGIによる対話機能 (アンケートページ, 掲示板)

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

#### (a) 評価方法

授業参加度, レポート, 作成したホームページの総合評価とします。

#### (b) 評価基準

以下の到達レベルを持って合格の最低基準とします。

- ・インターネットとWebシステムの技術概要を理解している。
- ・自分のホームページをHTMLとCGIで作成できる。

### 【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じますが、メールでアポイントを取ること。

### 【学生へのメッセージ】

講義では、コミュニケーションツールについて広い視野を身につけてください。

ホームページの作成実習では、基礎的な課題を出しますが、余力のある人には高度な技術を自分で学び「おもしろい作品」を作ること期待します。

### 【その他】